

部局名	教育委員会	所属名	公民館	所属長名	齋藤 清美	電 話	485-4811
-----	-------	-----	-----	------	-------	-----	----------

1. 事務事業の位置付け・概要（P L A N）

コード	3890		事務事業名称	公民館運営事業					短縮コード	経常	3890	臨時	3891
予算区分	会計	01	一般会計	款	10	教育費	項	05	社会教育費	目	02	公民館費	
区 分	☒ 自治事務 ☐ 法定受託事務 ☐ その他			根拠法令等		社会教育法、公民館の設置及び運営に関する基準、八千代市立公民館の設置及び管理に関する条例、八千代市立公民館管理規則							
事業概要（事務事業を開始したきっかけを含めて記入）													
・事業概要 ①講座（学級）の開催 ②サークル活動の援助 ③学習相談の実施 ・事業を開始したきっかけ 市の人口増加に伴い増大する市民の学習ニーズに対応するため社会教育の専門施設が必要となったことから、昭和52年に大和田公民館が設置された。続いて1年ごとに阿蘇・高津・勝田台・八千代台・村上・睦の順で設置が進み、その後、平成元年に八千代台東南、平成16年に緑が丘公民館が設置され、現在の市内の公民館数は9館となっている。													
事務事業を取り巻く状況の変化 又、今後の変化の推測				総合計画の施策体系	5本の柱（章）	02	人間尊重都市をめざして						
生涯学習活動やボランティア活動をする人が増加している。9公民館の中で、所謂駅前3館（八千代台・八千代台東南・緑が丘）と北部の2館（阿蘇・睦）の利用者数に著しい開きがあり、業務量の負担について差が出ている。また、サークル援助の一つである部屋割り等について、一般利用者とサークルのバランスがとりにくくなっている。今後の公民館運営の方向性を定める必要がある。					大項目（節）	02	生涯学習						
					中 項 目	01	生涯学習						
						02	社会教育						
					小項目（施策）	02	生涯学習機会の拡充						
						01	社会教育活動の推進						
					細 項 目	03	人的な資源の活用						
						01	学習活動の充実						
				実施計画の計画事業									
計画事業の位置付けの有無			☐	計 画 事 業 期 間		～			計 画 事 業 費		千円		

2. 事務事業の目的・指標・実績（D O）

対象 （誰を何を対象にしているのか）	市内在住、在勤、在学の住民 公民館で活動するサークル 公民館で活動するサークル会員							
手段 （具体的な事務事業のやり方、手順、詳細）	※平成18年度に実際に行ったこと： ・各種の講座（学級）を行う ・サークル活動を援助する（部屋の割振り、バス研修、作品展示会等） ・住民の学習ニーズに応える為の相談に応じる							
	※平成19年度に計画していること： ・各種の講座（学級）を行う ・サークル活動を援助する（部屋の割振り、バス研修、作品展示会等） ・住民の学習ニーズに応える為の相談に応じる ・平成19年4月に開設の,総合生涯学習センターとの関わりを明確にする							
意図 （何を狙っているのか）	住民が生涯学習活動のきっかけを得ることができ、その活動に必要な援助を受けることができる							
結果 （どんな結果に結びつけるのか）	学習プログラムを利用してもらう							
区 分				単位	17年度	18年度		19年度
					実績	計画	実績	計画
対象指標	指標1	市民人数	人	184,979	186,000	186,650	188,600	
	指標2	各公民館で活動するサークル	サークル	352	380	379	406	
	指標3	各公民館で活動するサークル会員数	人	5,559	6,000	6,060	6,561	
活動指標	指標1	各種講座の開催回数	回	626	690	645	664	
	指標2	各種講座の参加者数	人	5,568	5,785	5,875	6,182	
	指標3							
成果指標	指標1	各種講座の参加者数／市民人数	%	3.01	3.23	3.15	3.48	
	指標2	サークル会員数／市民人数	%	3.01	3.11	3.25	3.28	
	指標3							
上位成果指標	指標1							
	指標2							
	指標3							

コード	3890	事務事業名称	公民館運営事業				所属名	公民館
今後の方向性	⑥この事務事業の今後の方向性を選択し、その詳細について右欄に記入する。	☒ 改革・改善して継続			・公民館運営事業，維持管理事業のいずれの事業もここ２～３年で一定の改善・改革を進めることができ，経費の削減・成果向上という実績を示すことが出来た。今後も，更なる改善・改革を模索しながら進めていく。			
		☐ 手法プロセスの改革・改善						
		☐ 事業規模の拡大・縮小						
		☐ 統合・役割見直し						
	☒ その他							
☐ 廃止								
☐ 休止								
☐ 現状のまま継続								
	⑦この事務事業の今後の経費・成果の方向性について選択し、右欄に理由を記載する。			経 費			今後の方向性としては，社会教育課との役割分担を明確にし，今まで以上に連携し事業を進めることにより成果向上することができる。また，カルチャースクール等の民間で行っている趣味的な講座は極力少なくし，地域性の高い講座や，世代間交流，居場所作りを促すような教育的意図の高い講座に充てることにより，さらなる成果を上げることが出来る。 また，市民への情報の提供については，各公民館でホームページを作成し，更新が可能な環境整備をすると共に，本年４月に開設した「総合生涯学習プラザ」の学習情報提供の各種情報システム（まなびネットやちよ）を大いに利用し，情報発信の促進を図る。	
				削 減	不 変	増 加		
		成 果	向 上	☒	☐	☐		
			不 変	☐	☐	☐		
			低 下	☐	☐	☐		

この事務事業に対する市民や議会の意見（担当者が把握している意見） ※内部サービス業務の場合は、住民ではなく、サービス利用者、関連部門の意見や実態など									
・親子，子供に関する講座に需要が多い ・公民館図書室（阿蘇・睦）と図書館（ブックポスト設置等）の連携について									

所属長コメント	・公民館予算は，運営事業・維持管理事業を併せると16年度から18年度にかけて概ね半減しているが，それぞれの事業において例えば，「ボランティア講師登録制度」を活用すること，「夜間開館について職員が対応すること」等々，様々な創意工夫によりコストを削減し成果を上げることができたと共に，個々の公民館職員にその意識を定着することができた。今後は，本年４月開設の「生涯学習プラザ」との関わりを明確にすると共に，情報システム（まなびネットやちよ）を活用し，市民の皆さんへの情報発信を更に進めていく。								
評価調整委員会意見	☒ 改革改善して継続			対象・意図を見直すことにより事業目的を明確にした後，有効性・効率性向上のための取り組みを事業目的に沿って順次改革・改善を実施していくべき。					
	☐ 手法プロセスの改革・改善								
	☐ 事業規模の拡大・縮小								
	☐ 統合・役割見直し								
☒ その他									
☐ 廃止									
☐ 休止									
☐ 現状のまま継続									